

## 研究員楊亮斌氏の教育研究に関する活動

1. 研修目的：協定校上海体育学院の推薦により楊亮斌氏を研究員として受け入れた。楊氏の研究領域が伝統スポーツおよび学校体育、実技の専門が中国武術である。日本の剣道や柔道、空手などの伝統スポーツの歴史に関する情報収集、現代武道との関係、または、伝統スポーツは学校体育教育に盛り込んだ背景、その位置付けに関する研究のためである。
2. 研修期間：2019年1月30日～5月1日
3. 研究打合せ：
  - ・ 剣道専門の斎藤浩二教授と日本の剣道、中国剣道の事情について意見交換し、斎藤教授が関連資料を提供した。
  - ・ 柔道専門の南條充寿学科長と日本柔道および中国柔道の事情、または、ナショナルチーム監督の経験から、伝統スポーツと競技スポーツを観点からみた柔道の発展についても意見交換を行った。
  - ・ 川戸湧也助教と日本学校体育の制度、柔道などの武道科目の必修化の経緯について意見交換を行った。
  - ・ 中国瀋陽師範大学大学院在学中、元仙台大学空手部部長橋本大輔氏と、日本の空手の流派、中国武術との関連性について意見交換を行った。
  - ・ 青沼教授と学校教育についてディスカッションし、青沼教授が研究のための参考資料として日本学校指導要領を提供した。
4. 研修活動：
  - ・ 剣道部の部活動を見学し、剣道授業を体験した。
  - ・ 剣道部の部活動および授業を見学した。
  - ・ 青沼教授の紹介で船岡小学校の体育授業を見学し、教頭および担当教員と意見交換した。
5. 帰国中の研究成果：学術論文「中国小・中学校武術課程の目標形成および動向と啓発」を「中国体育科学」学術誌に投稿した。



右から：船岡小学校教頭先生、体育教員2名、仙台大学青沼教授、楊亮斌氏